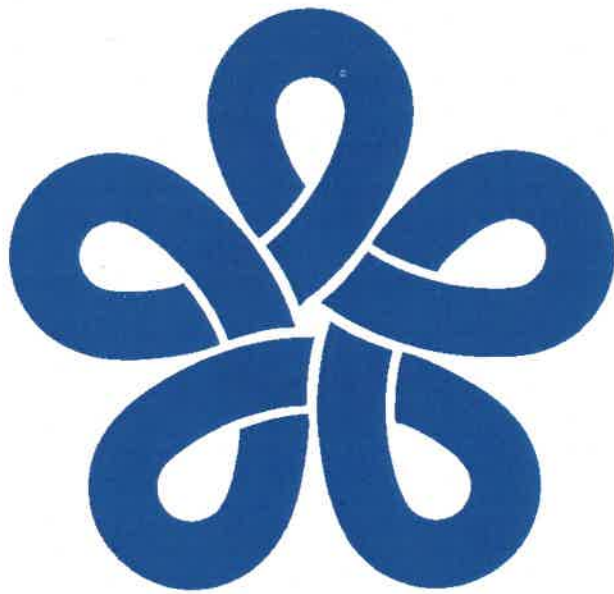


令和5年10月
福岡県議会マレーシア訪問団
報 告 書



令和5年10月31日～11月6日

福 岡 県 議 会

福岡県議会マレーシア訪問団 (報告書)

【全体概要】

今回のマレーシア訪問は、2022年に福岡で開催された第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会においてクアザ前会長（マレーシア）から、「次回 FAVA 大会が開催されるマレーシア・サラワクは水素関連の取り組みが盛んであり、2023 年マレーシアで開催される第22回アジア獣医師会連合（FAVA）大会とあわせ、ぜひ視察訪問に来ていただきたい」と招待を受け実現したもの。

福岡の大会の際はマレーシアがブース出展をしてマレーシアのPRを、マレーシア・クチンでの大会では、福岡県としてブースを出展し、本県のワンヘルスの取り組みを紹介するとともに八女茶をふるまい、福岡のPRを行った。

日 程：2023 年 10 月 31 日（火）～11 月 6 日（月）

出張者：香原 勝司 議長 【団長】
藏内 勇夫 九州の自立を考える会会長
松尾 統章 自民党県議団会長
原口 剣生 自民党県議団
岩元 一儀 民主県政県議団会長
椛島 徳博 新政会福岡県議団会長
その他参加議員 16 名
（随行）議会事務局次長ほか 6 名

【訪問概要】

JETRO クアラルンプール事務所 視察

日 時：11月1日（水） 11:00～12:00

場 所：JETRO クアラルンプール事務所 会議室

応対者：高野光一 所長

経済連携促進アドバイザー

施設概要

ジェトロ（JETRO：Japan External Trade Organization）は、貿易・投資促進と開発途上国研究を通じ、日本の経済・社会のさらなる発展に貢献することを目指す支援機関。世界 50 か国 70 都市を超える海外事務所および国内各都道府県に拠点を設置しており、官民にまたがる広いネットワークを通じた商談会などの機会やセミナーによる情報の提供、経験豊かな専門家による個別企業への海外展開支援を行っている。

【マレーシアの貿易と投資】

- ・ 2022 年の GDP 成長率は 8.7% と 22 年ぶりの大幅な伸びを記録
- ・ 世界需要の増大を受け、電機・電子製品の輸出が通年で好調。
- ・ 対内直接投資は 2 年連続で過去最高を記録。欧米等からの半導体関連投資が活発。
- ・ 日本からの直接投資は、製造業と非製造業とも堅調な増加を記録。

（JETRO HP から引用）

視察内容

- ・ マレーシアの政治状況や経済状況、進出日系企業から見たマレーシアの魅力などについて説明を受けた。
- ・ ASEAN の中でマレーシアは、シンガポールについて、ビジネス環境が整っており英語力も高く、店舗賃料が安いなど、進出日系企業からの魅力も高い。
- ・ 所得もシンガポールについて高く、富裕層人口については ASEAN で最も多く購買力が高い。



訪問の様子



集合写真

パビリオン・クアラルンプール 視察

日 時：11月1日（水） 12:10～14:30

場 所：パビリオン会議室

応対者：マーケティングディレクター
マレーシア福岡県人会会長

施設概要

- ・ 2007 年開業。600 以上のショップが展開するショッピングモール
- ・ 延床面積 25 万㎡（キャナルシティ博多と同規模）、年間来場者数 3000 万人
- ・ 周囲には「ザ・リッツ・カールトン・クアラルンプール」、「JW マリオット・ホテル・クアラルンプール」、「グランド・ミレニアム・ホテル・クアラルンプール」などの 5 つ星ホテルがあり、多くの観光客が滞在するエリアになっている
- ・ 東京ストリート（Tokyo Street）という、日本をモチーフにしたエリアは、日本食レストランや 100 円ショップのダイソー、日本製の時計を取り扱っているショップ、日本のお菓子を販売しているショップなどがある。

視察内容



視察の様子



集合写真

マレーシア福岡県人会との懇談会

日 時：11月1日（水） 19:00～21:00

場 所：チャオ

応対者：藤木 雅聡 マレーシア福岡県人会会長 他6名

概 要：創 立 2013年

会員数 39名（2022年10月現在）

2016年、福岡県アセアン訪問団におけるマレーシア県人会との交流以来

- ・ マレーシア福岡県人会の役員の皆様方をお招きして、県主催の交流会を行い、皆様を労うとともに、約9年ぶりとなる再会に歓喜し、さらに親睦を深めた。



マレーシア福岡県人会会長あいさつ



集合写真

TOTO マレーシア 視察

日 時：11月2日（木） 10:00～11:00

場 所：TOTO マレーシア工場

参加者：本部長 ほか

施設概要

- ・TOTOウォシュレットテクノ(株)は、2001年に創業され、従業員数671名、事業内容は、温水洗浄便座（ウォシュレット）の研究・開発および製造。
- ・ウォシュレットは、茨城県土岐工業、茨城工場の国内2工場、海外拠点のマレーシア・上海・タイ、全5工場での生産体制となっている。
- ・マレーシア工場は、1997年に設置し、ウォシュレットの生産に入り、9割以上が日本向けに出荷している。

視察内容

- ・製造工程は、ほとんど手作業で行っており、今後、機械化の導入が課題。



視察の様子



集合写真

在マレーシア日本国際工科院（MJIT）視察

日 時：11月2日（木） 14:00～15:30

場 所：日本語・日本文化センター（JLCC）

応対者：マレーシア工科大学（UTM） 福田応夫 教授

JICA マレーシア事務所 菅原美奈子 所長

マレーシア日本国際工科院 濱田 勇 チーフアドバイザー ほか5名

施設概要

- ・マレーシア日本国際工科院（MJIT）は、研究重視・研究室中心の日本型工学教育により最先端の技術知識の習得を促進することを目指し、マレーシア工科大学の傘下に、2011年9月に開校。
- ・JICAはこれまで、MJITに対し円借款事業および技術協力プロジェクトを通して教育研究機材の整備および日本型工学教育の導入支援等を行うことにより、マレーシアの国際競争力の強化、ASEANの産業界に貢献する人材の輩出に寄与してきた。
- ・JICA事業はMJITにおいて、これまでの成果を活かしつつ大学連携および産学連携の能力を強化し、教育・研究力をさらに充実を図るもの。



視察の様子



集合写真

【サラワク州概況】

人口約251万人でマレーシア全土の7.5%。宗教構成はキリスト教が39%、イスラム教37%、仏教、ヒンズー教と続く。

民族もサラワク先住民族を含め、多様な人種と民族グループが平均的水準な人口バランス。

東マレーシアに位置するサラワク州は、大型水力発電所を複数有するため、将来的に脱炭素ビジネスの拠点としての関心が高まっている。

<日本貿易振興機構（JETRO）HP 参照>

【クチン概況】

東マレーシア最大の都市で人口約35万人。諸説あるが、「クチン」はマレー語で猫を意味することから、「ネコの街」と言われ、1988年に公式に宣言して以来、内外にネコの街として知られるようになった。街中にはネコをモチーフにした像や壁画などが多数存在し、猫に関する文献等を集めた「キャットミュージアム」もあり人気の観光スポットとなっている。

豊富な生物多様性の熱帯雨林やそこに息づくオラウータンなどの希少な動植物、多様な宗教と先住民族文化、コショウやアブラヤシ（パームオイル）の農作物産業を有する一方、クリーンエネルギーの先進地域でもあり、無料の市内周回バスは、水素燃料電池駆動のバスが走り、そのためASEAN初の水素燃料ガスステーションがある。

サラワク州議会 表敬

日 時：11月3日（金） 14:20～15:30

場 所：サラワク州議会

概要

サラワク州立法議会は、マレーシアのサラワク州の一院制議会の立法院。この議会は、英国議会の慣例に由来するウェストミンスター議会制度の伝統をモデルとしており、州首相は、選出された州立法議員の中から選出される。州立法議会は、州都クチンのペトラジャヤにあるサラワク州立法議会ビルに設置されている。

2019年現在、立法議会は82名の議員で構成されており、マレーシア最大の州議会。議員は州内の小選挙区から選出され、選挙の間隔は5年以内となる。

サラワク州議会はマレーシアで最も古い議会であり、1867年9月8日にサラワク州の総評議会として設立され、継続的に機能している世界でもっとも古い議会の一つ。

執行部は議会の信任と供給を指揮する複数の政党によって組織され、当該政党の指導者が州政府の長である首相となる。総選挙の結果、構成政党がバリサン国民連合から分裂した後、2018年以来、ガブングン党サラワク連合が議会の過半数を占めている。

（サラワク州立法議会 HP から引用）

視察内容

- ・FAVA 大会が開催される、マレーシア連邦国サラワク州議会を表敬訪問した。日本の行政機関による訪問は初めてのことであり、香原議長をはじめとする訪問団は大歓迎を受けた。
- ・表敬に先立ち、1900年に竣工した議会棟の議事堂や議運室、図書館などの各施設を視察。サラワク州は、石油や天然ガスなどの資源が豊富で、予算がマレーシア国内で最も潤沢な州であり、施設各所にも最新の ICT 設備が導入されており、徹底的なペーパーレス化が図られていた。
- ・その後、ダド・イドリス副議長が我々訪問団を3名の議員と共に迎え、FAVA 大会がここサラワクで開かれることと、日本からの訪問に謝意を述べられた。
- ・香原議長はイドリス副議長の歓待に感謝するとともに、本県が推進する「ワンヘルス」について触れ、「ここ、サラワク州でのアジア獣医師会連合大会の開催、そして本日のこの懇談を契機に、ワンヘルスと福岡県にぜひ興味を持っていただきたい」と述べた。



イドリス副議長



挨拶をする香原議長



議運室の様子



集合写真



州議会議場

サラワク・エナジー 水素ガスプラント・水素ガスステーション 視察

日 時：11月4日（土） 10:00～11:00

場 所：サラワク・エナジー

応対者：ン・シン・ムック博士（サラワク・エナジー社 研究開発局総責任者）

施設概要

マレーシア政府の戦略では、2031年～2040年は、サラワク州を水素輸出の競争力のあるグローバルハブとして確立させることを目指しており、州政府自身が「アジア地域における水素のハブとなる」とのビジョンの元、マレーシア政府に先んじて州独自の水素ロードマップを策定。ロードマップでは、2030年までにサラワク水素経済を確立させ、2027年までに年間10万トンのグリーン水素を製造する目標が掲げられている。

2019年5月、クチンにおいて東南アジア初の統合型水素製造プラントと水素ガスステーションの正式稼働を発表。

この施設には、電解と呼ばれる電気化学プロセスで水素を製造するサラワク・エナジー社が建設したプラントと、サラワク経済開発公社（SEDC）が所有・管理するサラワク初の水素燃料電池電気バス用の燃料補給ステーションが含まれる。

製造プラントでは、純度99.999%で1日当たり130キログラムの水素を製造することができ、1日当たり最大5台の燃料電池バスと10台の燃料電池自動車に完全に供給することができる。

視察内容

- ・電解と呼ばれる電気化学プロセスで水素を製造するサラワク・エナジー社が建設したプラントと、サラワク経済開発公社（SEDC）が所有・管理する水素を充填できる水素ガスステーションを視察。



視察の様子



集合写真

ボルネオ文化博物館 視察

日 時：11月4日（土） 10:00～11:00

場 所：ボルネオ文化博物館

博物館概要

2022年3月にオープンした国内最大の博物館。

ボルネオ島の旧石器時代以降の数々の遺跡から、ボルネオ島と人の歴史を紐解き、先住民族の伝統的な文化、自然と共存した生活用具、織物や陶器、アニミズム（自然崇拝）、民族衣装や、入れ墨文化、そして、精神世界が広がる先住民族の儀礼的木工品など、余すことなく展示しており、サラワクやボルネオを深く知ることができる。

博物館は5階建てで、各階で違ったテーマを提供する。

○2階「Love Our Rivers」川をテーマに環境保全のための社会的責任

○3階「In Harmony with Nature」自然との共存

○4階「Times Change」先史時代から1970年代までの歴史

○5階「Objects Desire」サラワクの少数民族が大切にしているものを展示

博物館の総工費は3億2300万リンギ（約130億円）。建物と併設の建物の総面積は約31,000 m²、展示スペースは6,628 m²。

（HP より引用）

視察内容

- ・水素 ST 視察がセキュリティの都合上、少人数の受入れしか行えないため、同時間帯を活用し、2022年3月に開館した、ボルネオ文化博物館を視察。
- ・館内にはボルネオ島の旧石器時代以降の数々の遺跡から発掘された埋葬品や金属器、土器などの様々な時代の、様々な発掘物等が展示されていた。
- ・上層階は先史から戦時中の日本統治時代を含む歴史的展示が、中層階はワンヘルスの精神ともつながる、自然との共存をテーマとした展示が、下層階は次代を担う子どもたちが、マレーシア、サラワクの歴史に興味を持ち、遊びながら学ぶことのできる設備が整備されていた。
- ・貴重な出土品や復元されたレプリカ品と、プロジェクションマッピングやバーチャルリアリティ等の最新技術が融合したものとなっており、今後、新国立美術館の建てかえにあたって、その展示物、展示方法等を検討する際に大変参考になる視察となった。





バーチャルでページをめくるデジタル展示物

その後、デジタル展示については、新県立美術館の建設に向け、活用を提案した。貴重な文化財の劣化や破損を考慮せず展示が可能となるデジタル展示は、子どもから大人まで等しく興味を抱かせるものであり、美術館の課題である集客にもつながるものである。また、対応言語を増やしやすいくともあり、今後もインバウンドの増加が見込まれる本県においては、取り入れるべき手法であると考えている。



集合写真

水素燃料電池動力の自立型公共交通ART現場視察

日 時：11月4日（土） 13:45～14:30

場 所：クチン港湾施設内

施設概要

クチン都市交通システム（KUTS）の中心となる自立型公共交通（ART）は、水素燃料電池を搭載したゴムタイヤの無軌道車両を専用レーンで走らせる世界初の交通システムとなる。現在交通量の少ない道路でARTシステムの試験運転中であり、11月1日からは、実際の沿線の一部を使つての試験運転を開始。

視察内容

- ・クチン港湾施設内で実証を進める、水素燃料電池を動力とする、無人運転での公共交通ART（Advanced Rapid Transit）を視察した。
- ・サラワク州が所在するボルネオ島には旅客鉄道が無く、ARTが正式開通となった場合、島内初となる。
- ・現在、試験運行中のため、安全を考慮し、実際にARTが動く様子を見ることは叶わなかった。
- ・しかし、軌道を敷く必要が無く、既存の道路での運行が可能であり、水素燃料で動くARTは、本県が推進する水素社会の実現のための新しいツールとなり得る。
- ・また、無人運転については、中山間地域等でのMaaSの取り組みの1つの候補としても活用が考えられる技術であり、BRT路線との融合も考え得る。



ART 車両



車内で説明を受ける様子

第22回 アジア獣医師会連合（FAVA）大会 ガラディナー

日 時：11月4日（土） 18:30～22:00

場 所：ボルネオ・コンベンション・センター クチン

主催者：アジア獣医師会連合（FAVA）、FAVA2023 実行委員会

概 要：

- ・11月1日の代表者会議を皮切りに始まった FAVA クチン大会も、開会式、各セッション等順調に進み、約 600 人の FAVA 関係者出席のもと、ガラディナーが盛大に開催された。
- ・当初、マレーシアでの開催は 2021 年の予定であったが、新型コロナまん延の影響により中止となり、今年改めて 22 回大会として開催されることとなった。
- ・顕著な活動に従事された方々の日頃の功績を称え、大会に隣席したサラワク州首相から、表彰状が贈呈され、2022 年の福岡大会において採択された「アジアワンヘルス福岡宣言」の精神はしっかりとアジア全域で育まれていることを見て取れた。
- ・また当日は、FAVA と FAVA 福岡ワンヘルスオフィスの共同ブースも会場内に出版され、FAVA の取り組みを紹介するとともに、水出し八女茶が振舞われ、来場者は舌鼓を打っていた。



式典の様子



ボルネオ・コンベンション・センター クチン



集合写真

第22回アジア獣医師会連合（FAVA）大会 閉会式

日 時：11月5日（日） 13:10～13:50

場 所：ボルネオ・コンベンションセンター・クチン

主催者：アジア獣医師会連合（FAVA）、FAVA2023 実行委員会

概 要：

- ・11月3日から5日までの期間で開催された 2023FAVA クチン大会は大成功のもと閉会となった。
- ・2024年10月25日から27日に開催予定の第23回 FAVA 大会の開催地である、韓国大田市と、2024年4月16日～19日に開催予定の世界獣医師大会（WVAC）の開催地である南アフリカ ケープタウンからもプロモーションが行われた。



次回 FAVA 大会

2024年10月25日～27日（韓国）



次回 WVAC 大会

2024年4月16日～19日（南アフリカ）

(訪問団長)

今回のマレーシア視察では、9年ぶりに訪れたJETRO クアラルンプール事務所をはじめ、2019年に福岡県で開催された海外福岡県人会世界大会以来の再会となる、マレーシア福岡県人会の皆様との意見交換やサラワク・エナジーなどを視察し、ASEAN地域における経済成長の力強さと、今後の福岡県との連携の可能性について多くの知見を得ることができた。

マレーシアは、近年、実質成長率や物価上昇率が堅調で、ビジネス環境やインフラが整ってきているほか、富裕層人口や購買力も高く、輸出額（マレーシアから日本）・輸入額（日本からマレーシア）も増加している。また、日本からの直接投資もここ数年倍増しているなど、日本企業にとって有望な市場であることを再認識した。半導体関連をはじめとする先端産業への投資が活発であり、県内企業の海外展開や新たな販路開拓において、大きな可能性を有している。

県人会の皆様とは、2025年に福岡県で開催予定の海外福岡県人会世界大会での再会を確認できた。今後の交流を活性化させるためには直行便の必要性についても意見交換ができた。

サラワク州が国家戦略に先駆けて推進する水素社会の取組は、大変先進的であり、水素の製造から供給、交通分野での活用までを一体的に進める姿は、本県が目指す脱炭素社会の実現に向けても大いに参考となった。水素燃料電池を活用した次世代交通システム ART についても、公共交通の維持や中山間地域における移動手段確保など、本県の地域課題解決につながる可能性を感じた。

加えて、県産品や八女茶の海外での評価の高さも確認することができ、今後の輸出拡大や海外市場の開拓にさらに取り組む必要性があると感じた。

今回の視察では、水素エネルギーの利活用促進、県内企業の海外展開支援、県産品の輸出拡大など、本県の成長戦略につながる施策へ反映できる可能性を感じた。

(訪問団メンバー)

今回のマレーシア視察では、本県北九州市に本社のある TOTO グループの TOTO ウォシュレットテクノ（株）マレーシア工場を訪問し、アジアにおける水・トイレを軸とした公衆衛生分野においての情報交換を行った。

支援コンソーシアム加盟団体に九州大学・九州工業大学が加盟しているマレーシア日本国際工科院 (MJIT) の訪問を通じて、人材育成と国際交流が将来の地域発展を支える重要な基盤であることを改めて認識した。MJIT では日本式工学教育を取り入れた実践的な人材育成が行われており、日本企業や ASEAN 地域の発展を支える高度人材の育成に大きく貢献している。人口増加と経済成長が続く ASEAN 地域との交流を深化させるためにも、教育や学術分野における連携強化の重要性を強く感じた。

ボルネオ文化博物館では、歴史や文化を最新のデジタル技術と融合させた展示手法が導入されており、来館者が体験しながら学べる工夫が数多く見られた。本県においても新県立美術館の整備が進められる中、文化資源の魅力発信や次世代を担う子どもたちへの教育的効果という観点から大変参考となる視察であった。

サラワク州議会における ICT を活用した徹底したペーパーレス化も印象的であり、行政運営の効率化や DX 推進の必要性を改めて認識した。

今回の視察では、人材育成、国際交流、文化振興、行政 DX の推進など、本県の将来を見据えた政策に繋がる大変貴重な視察となった。

福岡県議会マレーシア訪問団日程

【令和5年10月31日(火)～11月6日(月) 5泊7日】

月日	時刻	場所	備考
10 月 31 日 (火)	8:00	福岡空港集合	国際線ターミナル3F チェックインカウンター「C」前
	発 9:45	福岡空港 (SQ655)	
	着 15:20	シンガポール空港	
	発 18:35	シンガポール空港 (SQ126)	
	着 19:40	クアラルンプール空港	
			【クアラルンプール泊】
11 月 1 日 (水)	11:00	JETROマレーシア	
	12:10	パビリオンクアラルンプール	
	17:15	ペトロナスツインタワー	
	19:00	マレーシア県人会との懇親会	
			【クアラルンプール泊】
11 月 2 日 (木)	10:00		※TOTOマレーシア視察
	発 10:55	クアラルンプール空港 (MH2520)	
	着 12:45	クチン空港	
	20:00	夕食会	※在マレーシア日本国際工科院視察
			【クチン泊】
11 月 3 日 (金)	14:30	サラワク州議会表敬 夕食会	
			【クチン泊】
11 月 4 日 (土)	10:00	ボルネオ文化博物館/ 水素ガスプラント&水素ガスステーション	
	13:30	水素燃料電池動力の自立型公共交通(ART)の試運転の概要説明と試乗	
	18:30	GALA DINNER	
			【クチン泊】
11 月 5 日 (日)	12:45	CLOSING CEREMONY	
	20:30	クチン空港着	(ホテルレイトチェックアウト)
	発 22:00	クチン空港 (SQ8335)	
	着 23:30	シンガポール空港	
			【機中泊】
11 月 6 日 (月)	発 01:20	シンガポール空港 (SQ656)	
	着 08:10	福岡空港	